

# 筑後周辺の主なイベント情報

## 大川市 大川花火大会

約60年の長きに渡り開催されてきた花火大会。約5000発という、筑後川下流域で有数の規模を誇ります。会場付近に高い建造物がないため、360度どこからでも花火を楽しめるのが最大の魅力です。

日時:8月11日(木・祝) 20:00~21:00

会場:筑後川総合運動公園(大川市大野島2852)  
お問合せ:大川観光協会事務局(TEL:0944-87-0923)

## 筑後市 県指定無形民俗文化財 水田天満宮千燈明花火大祭

約700年の伝統を持つ荘厳華麗な火祭り。帆立貝に菜種油を注ぎ込んで灯心を入れた数千個の古式灯明に火が灯され境内を幻想的に彩ります。露店や催し物、花火なども行われます。

日時:8月25日(木) 11:00~

会場:水田天満宮(筑後市水田62-1)  
お問合せ:水田天満宮社務所(TEL:0942-53-8625)

## 大木町 おおき堀んぴっく2016

大木町の特徴である、堀(クレーク)を使った水上運動会を開催します。ごの上を走る「水上20M走」やハンギリを使った「ハンギリレース」など合計4種目。他にも色々なイベントがあります。

日時:8月28日(日) 9:00~17:00

会場:道の駅おおき(三潞郡大木町横溝1331-1)  
お問合せ:堀んぴっく実行委員会[大木町商工会内](TEL:0944-32-1336)

## 広川町 第26回広川かすり祭「百花繚乱」

久留米餅製品や八女茶・手焼きせんべいなどの広川町特産品の展示販売が行われます。また、久留米餅工房見学、藍染、八女茶試飲、そば打ちなどの体験ができる巡りツアーもあり、広川町の魅力を見て・触れて・感じていただけるお祭りです。

日時:9月17日(土)・18日(日)9:00~17:00

会場:広川町産業展示会館(八女郡広川町大字日吉1164-6)  
お問合せ:広川町観光協会(TEL:0943-32-5555)

こちらの会場でも野十郎作品が見られます

福岡県立美術館

4階ギャラリー 野十郎特設コーナー  
観覧無料 休館日:月曜日[ただし祝休日の場合はその翌日]  
住所:福岡市中央区天神5-2-1  
お問合せ:福岡県立美術館(TEL:092-715-3551)

石橋美術館

「石橋美術館物語 1956久留米からはじまる。」  
会期:7月2日(土)~8月28日(日)  
休館日:月曜日[ただし7月18日(月・祝)は開館]  
住所:久留米市野中町1015 石橋文化センター内  
お問合せ:石橋美術館(TEL:0942-39-1131)

## 柳川市 有明海花火フェスタ

約8000発の打ち上げ花火とスカイナイアガラが見どころの花火大会。花火のほかにも、地域の物産展やさまざまなイベントが催されます。

日時:8月21日(日) 開場15:00 花火打ち上げ 19:30~20:30

会場:柳川市学童農園「むつごろうランド」(柳川市橋本町389)  
お問合せ:有明海花火フェスタ実行委員会(TEL:070-4690-0856)

## みやま市 第7回夏休みみやまおもちゃ花火フェスタ2016

みやま市高田町は花火製造所が集まる有数の花火産地。体験ブースでは線香花火などの手づくり体験イベント、夜のステージではご当地グルメ、物産品の販売テントが並び、ライブや飛び入りで参加できるイベントイベントなどが盛りだくさんです。祭りの最後を飾る花火と大蛇山の競演は迫力満点!

日時:8月27日(土)

体験ブース15:00~17:00 ステージイベント17:00~21:00

会場:まいピア高田北側駐車場(みやま市高田町濃施14)  
お問合せ:(一社)みやま市観光協会(TEL:0944-63-3955)

## 八女市 八女のまつり あかりの祭典

9/10(土)に宮野公園で行われる光と音楽の花火大会をオープニングとし、9/17(土)、18(日)に提灯まつり、あかり絵コンテスト、ステージイベントが行われます。八女の“あかり”をテーマとしたお祭りはイベント盛りだくさんです。

日時:9月10日(土)「光と音楽の花火大会」

9月17日(土)・18日(日)ステージイベントなど

会場:八女市宮野公園(八女市宮野148-1) [10日]  
八女市伝統工芸館周辺(八女市本町2-123-2)[17・18日]  
お問合せ:茶のくに観光案内所(TEL:0943-22-6644)

## 九州芸文館 次回イベントのご案内

ちくごアートファーム計画2016~筑後の自然と創造力  
アートで地球と遊ぶ 木村崇人展

プレワークショップ

巨大日光写真ワークショップ「雲になる日」  
日時:2016年8月19日(金)・20日(土)・21日(日)  
10:00~12:00/13:00~15:00(1日2回)  
講師:木村崇人(美術家)  
対象:幼児~大人(小学生以下は保護者同伴) 参加無料 定員:各30名程度(先着順)  
※詳細は、九州芸文館ホームページなどでお知らせいたします。  
ワークショップで制作した作品は下記の展覧会で展示されます。

展覧会

「ちくごアートファーム計画2016~筑後の自然と創造力  
アートで地球と遊ぶ 木村崇人展」  
会期:2016年12月10日(土)~2017年2月19日(日) 入場無料

## 【交通案内】

【JR】九州新幹線「筑後船小屋駅」(博多駅から約25分)より徒歩約1分  
鹿児島本線「筑後船小屋駅」(博多駅から快速で約50分)より徒歩約1分  
【西鉄バス】50番(久留米・高良台・羽犬塚・船小屋)「筑後船小屋駅前」より徒歩約1分  
【車】九州自動車道「八女IC」より約10分、「みやま柳川IC」より約15分  
【駐車場】103台(2時間まで無料/以降1時間100円)  
※台数に限りがございますので、できるかぎり公共交通機関でお越しください。

## 【お問合せ】

九州芸文館  
(筑後広域公園芸術文化交流施設)  
〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131  
TEL:0942-52-6435  
http://www.kyushu-geibun.jp

九州芸文館  
KYUSHU GEIBUN-KAN

没後40年

# 高島野十郎展

T A K A S H I M A Y A J U R O

—光と闇、魂の軌跡—



高島野十郎《桃とすもも》昭和36年 個人蔵

2016 8月7日(日) → 9月22日(木・祝)

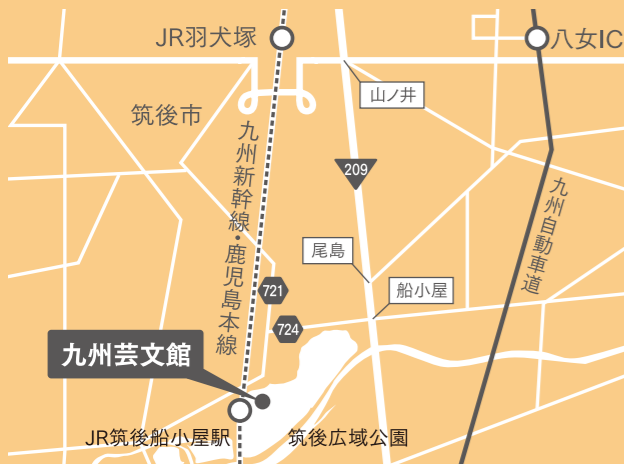
開場時間:10:00~17:00 (入場は16:30まで) ※9月17日(土)のみ19:30まで(入場は19:00まで)

会場:九州芸文館 休館日:月曜日[ただし9月19日(月・祝)は開館、翌20日(火)休館]

入場料:一般800円(600円)/高大生500円(300円)/小中生300円(100円)

※( )内は20名以上の団体料金 ※65歳以上の方は特別料金(500円) ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方およびその介助者は無料 主催:九州芸文館美術展実行委員会、TNCテレビ西日本 共催:西日本新聞社

九州芸文館  
KYUSHU GEIBUN-KAN



# 高島野十郎

TAKASHIMA YAJURO

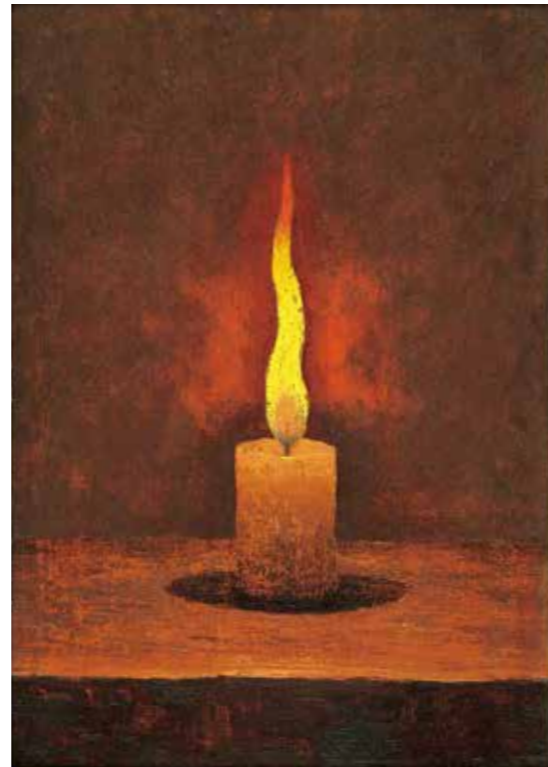
## 全国初公開の作品が ふるさと筑後に—



1



2



3

高島野十郎(1890-1975)は「孤高の画家」「蠟燭の画家」として知られる久留米市出身の洋画家です。生前にはほとんどその存在が知られることはありませんでしたが、昭和55(1980)年、展覧会に出品された一枚の絵をきっかけに、徐々にその生涯や画業が明らかにされてきました。以来、卓越した技術と深い精神性を感じさせる作品の数々と、画家としての信念を貫いたその生き方が、多くの人々を魅了してきました。

明治23(1890)年、福岡県久留米市の酒造家の家に生まれた野十郎は、東京帝国大学農学部水産学科を首席で卒業するも、周囲の期待に反して、画家となる道を選びます。どの美術団体にも属せず、独学で絵画を研究し、家庭を持つことさえ望まず、超俗的な生活を送りながら、ひたすらに自らの理想とする絵画を追求しました。

鬼気迫るほどに細部まで綿密に描きこまれた写実的な画面は、心奪われる強い魅力に満ちています。それは彼の写実が単なる再現描写を超えて、対象の深い精神性を表現しているからに他なりません。

本展は高島野十郎の没後40年にあたって企画され、各地を巡回してきました。大反響を呼んだ本展が、このたび巡回の終着点として、野十郎のふるさと筑後の地へ帰ってきます。《菜の花》や《桃とすもも》をはじめとする風景画、静物画、野十郎の独自性が発揮された《蠟燭》や《月》シリーズなどの代表作を含む約150点をご紹介します。さらに、本館での展示では、他館の巡回では出品されなかった全国初公開の作品もお披露目します。画家を育んだふるさと筑後の地で、高島野十郎の奥深き絵画世界をじっくりと味わっていただける貴重な機会です。



4 (前期のみ展示)



5



7



6

- 1.《太陽》昭和50年 個人蔵
- 2.《絡子をかけたる自画像》大正9年 福岡県立美術館蔵
- 3.《蠟燭》大正時代 福岡県立美術館蔵
- 4.《からすうり》昭和23年以降 個人蔵
- 5.《筑後川遠望》昭和24年頃 福岡県立美術館蔵
- 6.《ひまわり》昭和36年以降 福岡県立美術館蔵
- 7.《満月》昭和38年頃 東京大学医科学研究所蔵

※会期中に展示作品の入替えがあります。  
入替え作品についてはHPをご覧ください。  
前期:8月7日(日)~8月28日(日) 後期:8月30日(火)~9月22日(木・祝)

## 関連イベント

### ①講演会「野十郎的生き方について」

野十郎の生活や画業から、「孤高の画家」が今の私たちに教えてくれるメッセージを紐解きます。

日時:8月11日(木・祝) 14:00~15:30

講師:西本匡伸(福岡県立美術館 副館長)

会場:教室工房3・4 参加無料 定員:80名(先着順・要申込)

### ②ワークショップ1「ろうそくのおくりもの」

大切な人への贈り物としてろうそくの絵を描いた野十郎のように、誰かにプレゼントするためのろうそくと、ろうそく立てを作ります。燭蛾(はぜろう)、蜜蝋、パラフィン蝋を使ったカラフルでかわいらしく作り手に挑戦してみませんか。

日時:8月14日(日) 14:00~16:00(13:30受付開始)

講師:牛島智子(美術家)



会場:教室工房3・4 参加費:500円  
定員:20名(先着順・要申込)  
※小学生以下は保護者同伴  
協力:独楽工房 隈本木工所

### ③野十郎を知るシリーズ1

レクチャー「野十郎の絵画を読み解く10のキーワード」

日時:8月28日(日) 14:00~15:30

講師:高山百合(福岡県立美術館 学芸員)

会場:教室工房3・4 参加無料 定員:80名(先着順・要申込)

### ④ワークショップ2「野十郎みたいな絵を描こう!」

不透明水彩絵具(アクリル絵具)を使って、写真を見ながら野十郎の描いた筑後の風景を描きます。初心者の方も大歓迎です。完成した作品は展覧会会期中、九州芸文館にて展示します。

日時:9月4日(日) 10:00~16:00(9:30受付開始)

講師:小木曾誠(佐賀大学芸術地域デザイン学部 准教授)

会場:教室工房3・4 参加費:500円 定員:30名(先着順・要申込)

持ってくるもの:筆、鉛筆、昼食、お持ちの方は不透明水彩絵具(アクリル絵具)  
※写真は主催者が用意します。※汚れてもよい服装でお越しください。

### ⑤バスツアー「野十郎の故郷を巡る」

展覧会鑑賞後、野十郎の母校や作品を描いた場所など、野十郎ゆかりの地を訪ねます。

日時:9月6日(火) 9:30集合 15:40解散(予定)

参加費:4000円(バス代、昼食代、展覧会入場料込)

定員:25名(先着順・要申込) 集合・解散:九州芸文館

旅行企画・実施:筑後観光バス [福岡県知事登録旅行業第2-381号]

申込締切:8/31(水) ※定員になり次第締め切らせていただきます。

### ⑥野十郎を知るシリーズ2

ギャラリートーク「描き手の目で見ると野十郎絵画」

写実的作風で知られる洋画家・小木曾誠氏が、絵画技法について画家ならではの視点から語ります。

日時:9月11日(日) 10:00~11:00

講師:小木曾誠(佐賀大学芸術地域デザイン学部 准教授)

会場:展覧会場 参加無料 (ただし本展入場券が必要です) 申込不要

### ⑦アクロス・ミュージアムコンサート

野十郎の命日にあわせ、木管四重奏のコンサートを開きます。中秋の名月の昇る宵、木管楽器の奏でる深く豊かな音色をお楽しみください。

出演:フルート/安部あゆみ、オーボエ/桐谷美貴子、  
クラリネット/小田美代子、ファゴット/浦野さやか

日時:9月17日(土) 17:30~18:30

会場:カフェ芸術の森(九州芸文館内) 参加無料 定員:60名(先着順・申込不要)  
主催:(公財)アクロス福岡

※9月17日(土)のみ展覧会開場時間を19:30まで延長します!

### ⑧学芸員によるギャラリートーク

日時:8月23日(火)・9月13日(火) 14:00~14:30

会場:展覧会場 参加無料 (ただし本展入場券が必要です) 申込不要

お問合せ  
お申込み先

①~④九州芸文館:電話(0942-52-6435)または、  
ホームページ「申込フォーム」  
⑤筑後観光バス:電話(0942-52-3511)  
最新情報は館内入口、ホームページ、本展Facebookページにてご確認ください。